

黒木メイサさんら審査員の胸を熱くさせた「おめでたメール」がグランプリに！
第6回「iのあるメール大賞」受賞作品決定！
全国20,039通の中からグランプリに選ばれたのは！？
URL: <http://i-arumail.jp/>

NTTドコモグループでは、本年度で第6回となる「iのあるメール大賞」の作品募集を2007年9月1日（土）から2007年11月4日（日）までの約2ヶ月間実施し、2万件を超える多数のご応募を頂き、大盛況のうちに終了いたしました。

秋元康さん、松本侑子さん、田中圭さん、黒木メイサさんら4名の審査員による審査の結果、島村佳明さんの「さあ！問題です」がグランプリに選ばれました。
『お母さんの力強さ、3人の子どもを夫婦で育てていこう！ 幸せな家族になろう！という明るい決意さえ感じられて、胸が熱くなりました。』（松本侑子さん談）

また、準グランプリ10作品、ドコモグループ各社賞として18作品、入賞として50作品合計79作品が「第6回iのあるメール大賞」受賞作品として選ばれました。

『普段、使っている言葉で思いを伝えるため、よりストレートに愛が伝わるんですね。』と秋元康さんのコメントにもあるように素直な気持ちが表現された愛のあるメールの数々をサイトでご紹介しております。

NTTドコモでは、思わず笑ってしまったメール、涙したメール、恥ずかしくて直接言えない想いを伝えたメール、そんな心温まるメールを募集し、広く紹介することで、メールコミュニケーションを一つの「文化」として育てていきたいと考えています。

<ロゴマーク>



受賞作品はこちらのURLからご覧頂けます

<掲載用QRコード>



<http://i-arumail.jp/> (iモード・パソコン共通URL)

バーコードリーダー対応の機種にて、左記バーコードを読み取るだけでアクセス可能。

傷・汚れ破損、光の反射などによっては読み取れない場合があります。

最終審査に臨まれた審査員のみなさん



選考を終えて



秋元 康 (作詞家)

回を重ねるごとに、この『iのあるメール大賞』の認知が高まり、今まで、こういうコンテストに応募したことのない方の作品も集まったので、審査をしながら、とても新鮮な感動を覚えました。メールを受ける人、メールを送る人の年齢層も広がり、メールは、もう、日常の一部になっていることを改めて認識しました。普段、使っている言葉で思いを伝えるため、よりストレートに愛が伝わるんですね。どれも、大賞になってもおかしくないクオリティの高い作品ばかりで、審査は難航しました。言い方を変えれば、どんなメールにも愛が存在したということです。メールを受けた人、メールを送った人の嬉しそうな顔が思い浮かんで、とても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございます。



松本 侑子 (作家・翻訳家)

グランプリ作品は、おめでたメールです。これを書かれた女性には、小学2年の男の子と、生後半年の赤ちゃんがいます。オムツかえ、授乳、入浴、食事と、父母ともに育児に追われる毎日でしょう。そんな時、3人目の妊娠がわかった……。メールの最後にある「きっと幸せになるでしょう」に、お母さんの力強さ、3人の子どもを夫婦で育てていこう！ 幸せな家族になろう！という明るい決意さえ感じられて、胸が熱くなりました。ほかにも、家族、友だちの大切さをあらためて感じさせる素晴らしいメールが多数ありました。ありがとうございました。



田中 圭 (俳優・タレント)

さりげないメールにも、時間とアイデアがいっぱい詰まったメールにも、相手を想う「愛」がしっかり入っていて、読んでいて心が温まりました。当たり前の様に身近な存在になった「メール」ですが、だからこそ大切な気持ちを「メール」に乗せてあげたりもらったりしたいなと思いました。素敵なコンテストでした！！



黒木 メイサ (女優)

何かを審査するというのは、この『iのあるメール大賞』でしか味わった事はありません。今回3度目の参加となりましたが、毎回学ばされる事がたくさんあります。“この賞は文学賞ではない”と秋元先生がおっしゃっていました。「ひとの愛」、「感動」をナチュラルに感じられるiのあるメール大賞。とてもステキだと思います。

(順不同・敬称略)

第6回「iのあるメール大賞」グランプリ作品

兵庫県 島村佳明さん 40代



受信メール

Subject さあ！問題です。

昨日、レインボウパパから
おやつパパになったことがわかりました。
この答えがわかったあなたは
きっと幸せになるでしょう。

【エピソード】

このメールを妻からもらった当時、小学2年の長女と、半年前に生まれたばかりの長男と4人家族。朝、家を出て駅に着く頃にこのメールがきました。しばらく考え、答えがわかった私は電車の中でガッツポーズ。そうです。レインボウ = 虹 = 2児、おやつ = 3時 = 3児 もう一人家族が増えた瞬間でした。

準グランプリ作品

大阪府 瀬戸新一郎さん 20代



受信メール

Subject 立ち位置

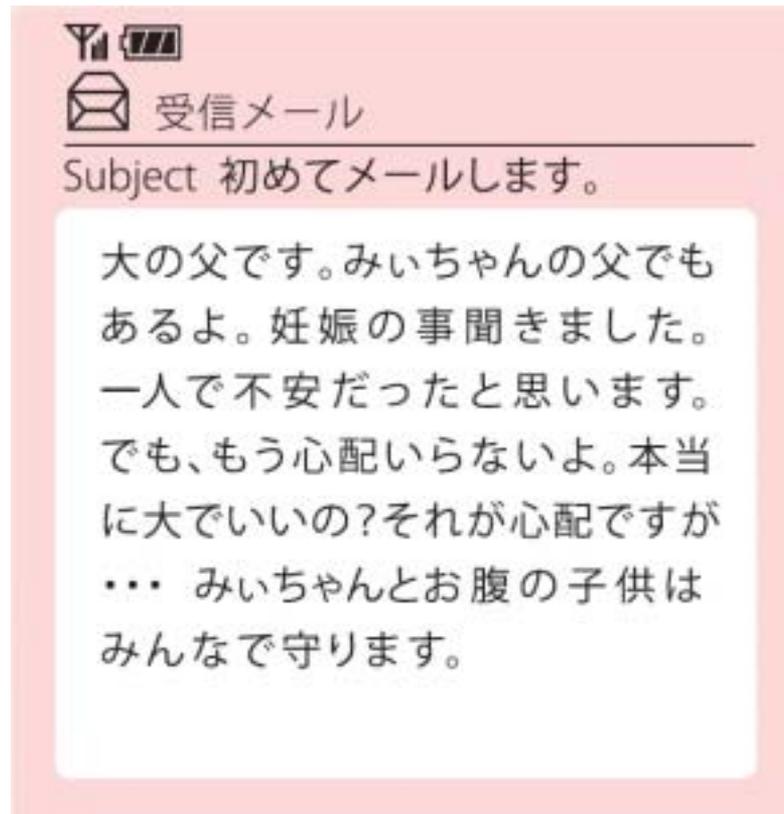
おれの立ち位置を左に変えれば、
なんも問題ない。くだらんこと
言うヒマあったらネタ考えろ。

【エピソード】

自分は、幼なじみと二人でお笑い芸人を目指して活動中なのですが、病気が原因で右耳が完全に聞こえなくなっていました。片方の耳とはいえ、完全に聞こえないのではもうお笑いは無理だと思い、相方に「コンビを解散しよう」と相談したところ、このメールが返ってきました。いつも口の悪い相方の精一杯の愛？が感じられ、不覚にも泣いてしまいました。

準グランプリ作品

広島県 松宮 美幸さん 20代



【エピソード】

今の主人と付き合っている時に、妊娠が分かり、主人と主人の母と3人で病院へ行った日に、主人の父から届いたメールです。不安で仕方なかったけど、「みんなで守ります」って言葉を見た瞬間、涙があふれました。安心して子供を産めるって...私って本当に幸せ者だって思いました。主人の誕生日に妊娠が分かってから、もう1年10ヶ月。元気な女の子のママです。

準グランプリ作品

福岡県 高瀬文加さん 20代



 受信メール

Subject 無題

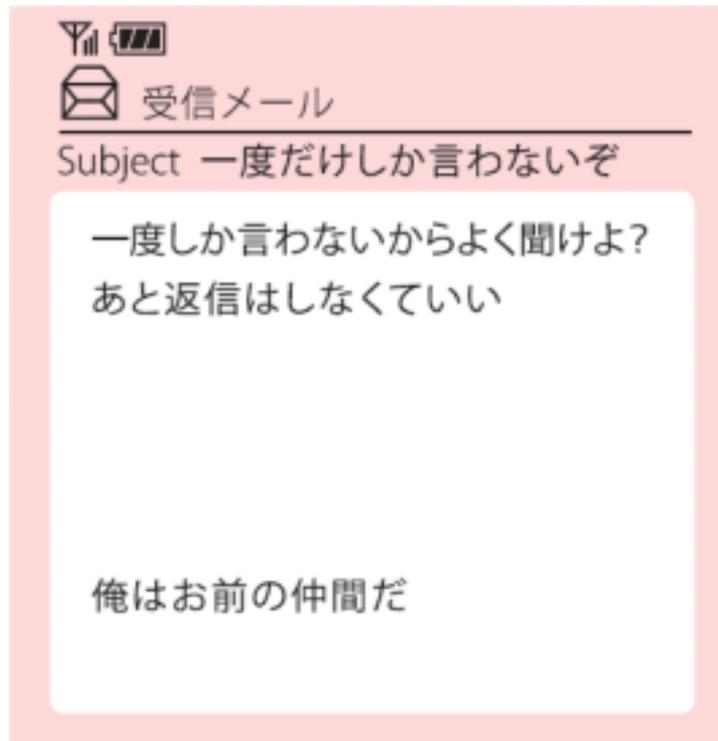
おにぎり作ったから冷める前に
帰っておいで

【エピソード】

小さい頃あたしは母が作ったおにぎりが大好きでした。
高校生になって学校が嫌で中退。その時に親と喧嘩して家出してしまいました。
あたしは自分のしたことで親に迷惑をかけた事はわかってたのですが、
意地っ張りだったし、合わせる顔がなくて、
どうしたらいいのかわからなくなっていた時に母からきたメールです。
思わず泣いてしまい、家に帰り、謝ることができました。
このメールがなかったら、今のあたしはなかったかもしれません。
お母さんありがとう。

準グランプリ作品

東京都 藤本達也さん 10代



【エピソード】

僕が病んでいた時、

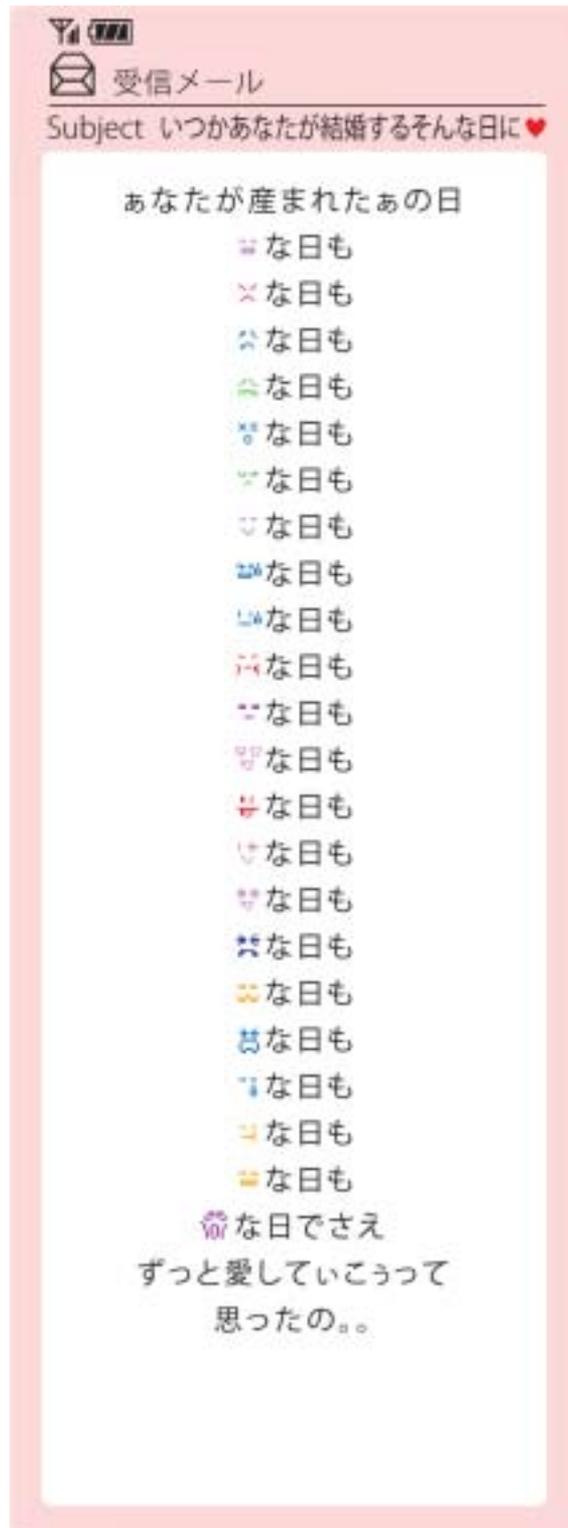
「自分のブログに自分には仲間がいるのかなぁ～」的なことを載せました。

次の日辺りに親友から、このメールが届きました。

当たり前のことを言われて、メールを見た瞬間に泣き笑いをしてしまいました。

準グランプリ作品

大阪府 光山雅美さん 20代



【エピソード】

私が20才の時に娘が生まれました。娘は現在2才8か月。このたった2年の間にも様々な事がありました。娘の育児に悩んでごはんが食べれなかった日。周りの人のささいな言葉に傷ついて大泣きしてパパや壁にあたり。。私ってなんて弱いんだろうって何度も思いました。

それでも娘が大切なこの気持ちはずっと変わらない。

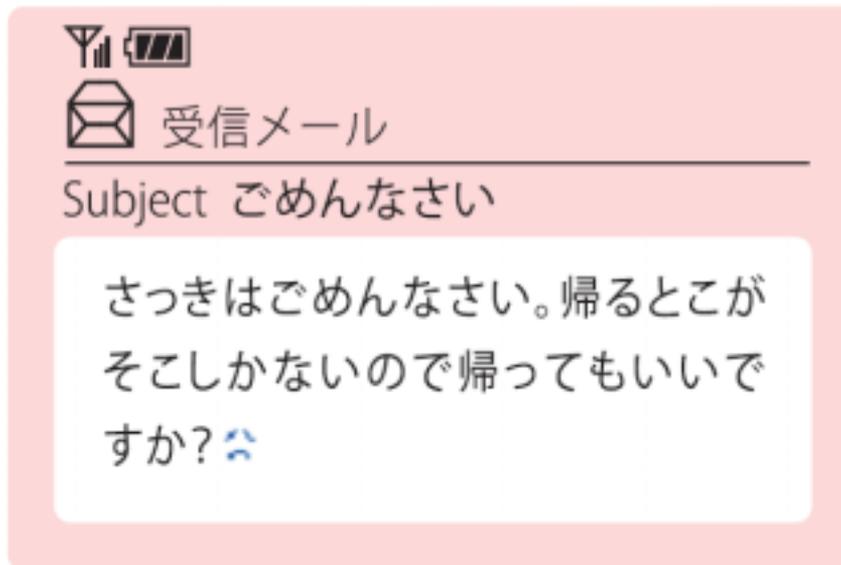
私の隣で寝ていた娘を見ていて、いつかは私の手を離れてゆくそんな日の事を考えていました。何故か涙が出てきて。。

あと20年くらい先の話だけど、あっと言う間かもしれない。

いつか結婚する娘に。。この思いが伝わればいいなと思って綴ったメールです。

準グランプリ作品

茨城県 柳下美由紀さん 30代



【エピソード】

主人からのメール。夫婦ゲンカをして、勢いあまって家を飛び出した主人ですが、行くところがなくて、30分もたたないうちにきたメール。苦手なメールを必死に送ったんだろうなぁと思ってる時に、ふてくされた顔して帰ってきた姿がかわいくて忘れられません(笑)

準グランプリ作品

奈良県 北戸美紀さん 40代



受信メール

Subject あんなあ……

あんなあ……オレ、やっぱり野球
したいねん。ほんまは、おかんが
言うてくれた高校に行きたいねん。
でもなあ……電車で通わなあか
んし、グローブもメチャ高いやつ
になるし……おかんに今まで以上
に迷惑かけるのんが嫌やってん。
あんな言い方してゴメン。ほんまは
うれしかってん。……オレに野球
やらせてください。そんで、オレが
野球でおかんにラクさせてやれる
ようになるまで、もうちょっと待つ
てて。おかんがヒマや～って言う
ぐらい、ラクさせたるから!!なっ!!

【エピソード】

息子は小さい頃から野球が好きで、中学3年まで野球漬けの毎日を送ってきたのに、進路相談の時に、息子が希望したのは、自転車通学で野球部がない高校でした。

「野球は？」と聞くと、「飽きた」と一言。

でも、毎日素振りしている姿を見て、「何か隠している」と思い、思わず問い詰めたら……「オレがどこ行こうとオレの勝手やる！」と家を飛び出してしまいました。

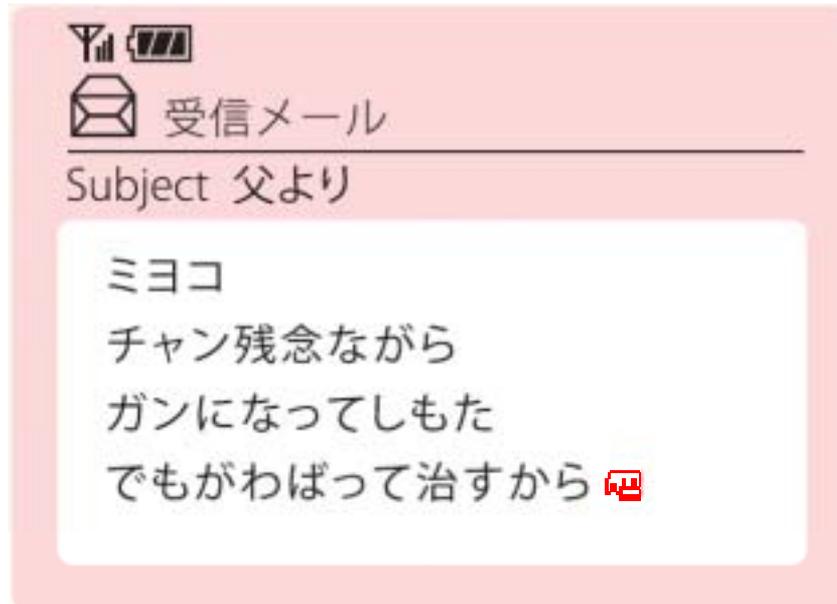
その時に届いたのがこのメールです。

母子家庭の我が家をこの子なりに思いやって悩んでいたんだと……

おかんはまだまだ頑張るで～！！

準グランプリ作品

大阪府 安藤充佳子さん 30代

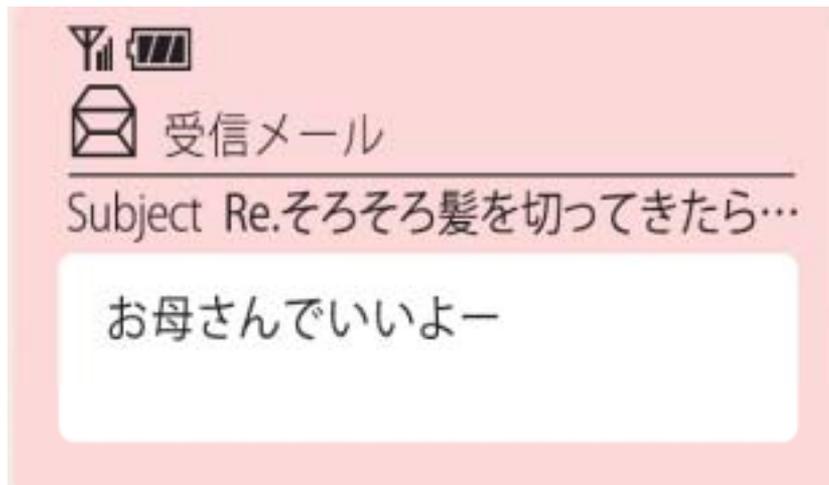


【エピソード】

突然倒れて、検査をした結果癌であることが判明。
父へ告知の日。どうしても仕事を休むことができず、落ち着かない気持ちでいた時に父から届いたメール。慣れないメールに慣れない絵文字。打ち間違えの言葉。家族に心配かけまいとの父の精一杯に胸があつくなりました。
「チャン」とは家族内での父の呼び名です。

準グランプリ作品

長野県 山口順子さん 40代

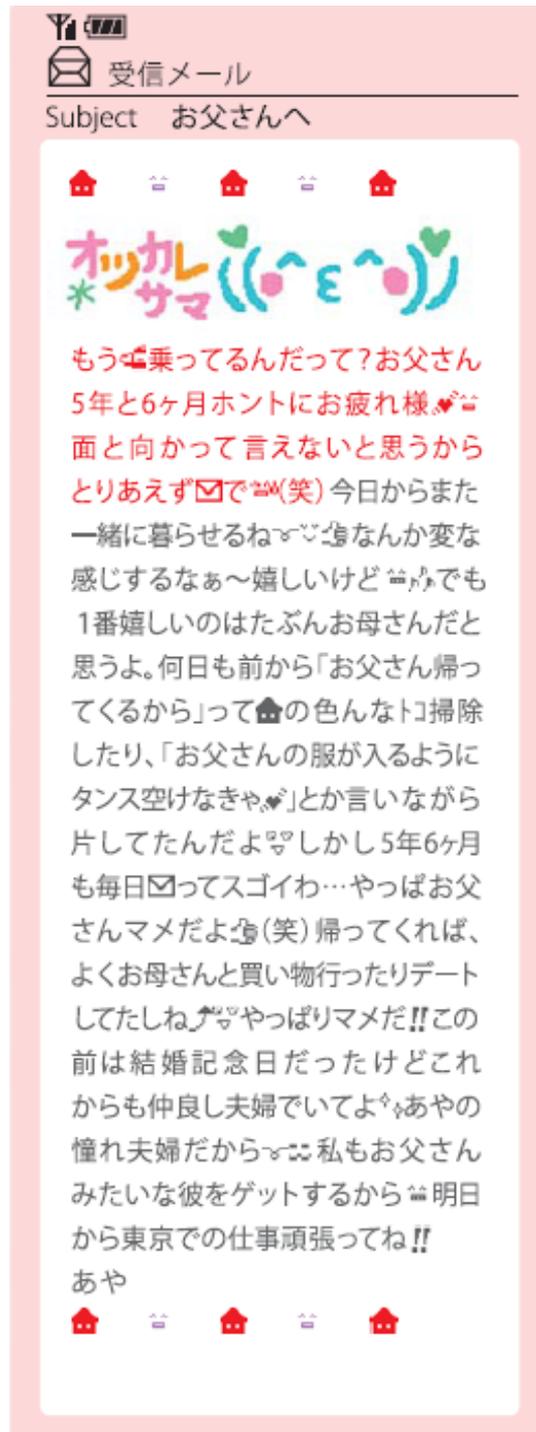


【エピソード】

25年も前の事です。結婚した頃主人の月給が安くてつましい生活をしていました。ある日私は主人の髪の毛を切ってあげようと奮闘したものの、仕上がりは段違い平行棒の様な前髪になってしまい、以来主人には美容院に行ってもらいました。そして今年、主人は還暦を迎え定年退職をしました。ある日いつものように「そろそろ髪を切ってきたら・・・」とメールをすると、「お母さんでいいよー」と返信が返ってきました。今迄一緒に生きてきて、この言葉には涙が止まりませんでした。これからの人生、ますます幸せになろうと心に誓いました。

準グランプリ作品

埼玉県 吉田亜弥さん 20代



【エピソード】

5年6ヶ月の単身赴任生活を終えた父に送ったメールです。
今日から一緒に暮らせる嬉しい気持ちと感謝の気持ちを込めて。

第6回 「iのあるメール大賞」募集要項

名称： 第6回「iのあるメール大賞」

応募期間： 2007年9月1日(土) ~ 2007年11月4日(日)

応募資格： 日本国内に在住の方 国籍・性別・年齢問わず

応募方法： ドコモのケータイ(FOMA/mova)もしくはパソコンから、<http://i-arumail.jp/>にアクセスし、ガイドに従って応募。

賞： グランプリ【30万円】 1作品 準グランプリ【各10万円】 10作品
 ドコモグループ各社賞【7万円】 18作品 入賞【各2万円】 50作品

審査員： 秋元 康、松本 侑子、田中 圭、黒木 メイサ (順不同・敬称略)

主催： **NTT DoCoMoグループ**

< 本件に関する報道関係者様 お問合せ先 >

「iのあるメール大賞」PR事務局(株式会社プラチナム内) 担当:市川・大澤
Tel:03-5572-6073 FAX:03-5572-6075